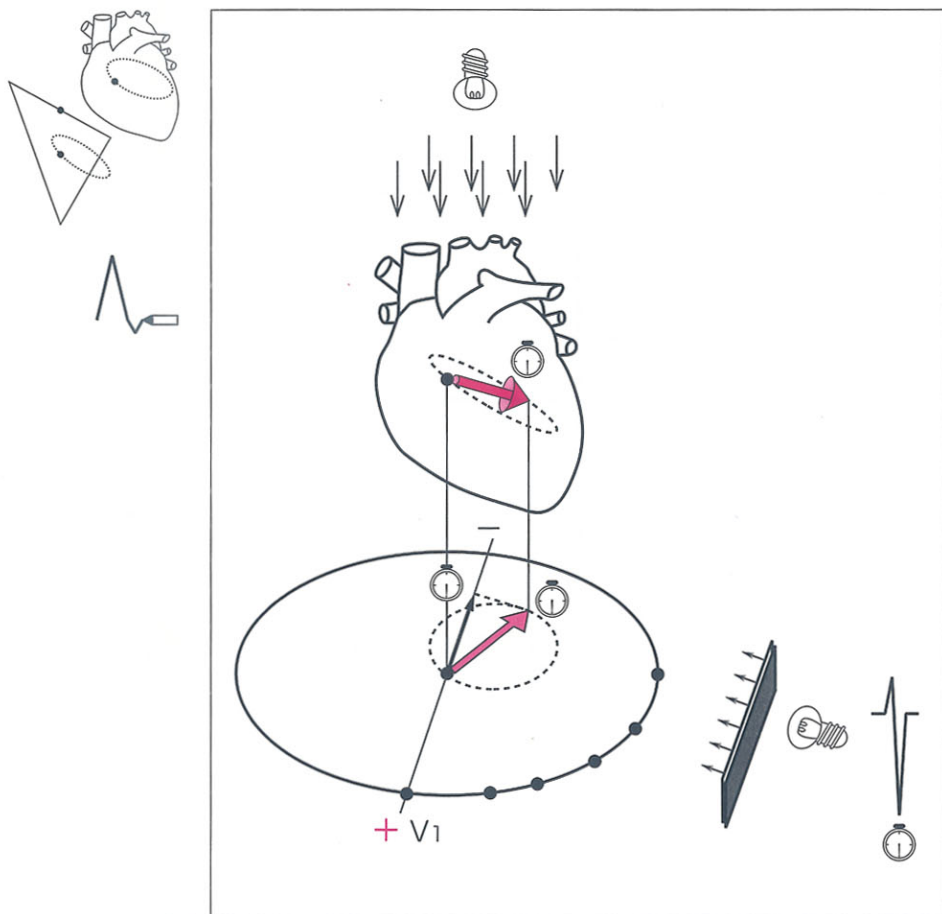


第4章 ループごとの投射：part 2 心室脱分極ベクトルループ

6. V₁誘導では心室脱分極ベクトルループは、主として大きな陰性（S）波として観察される。

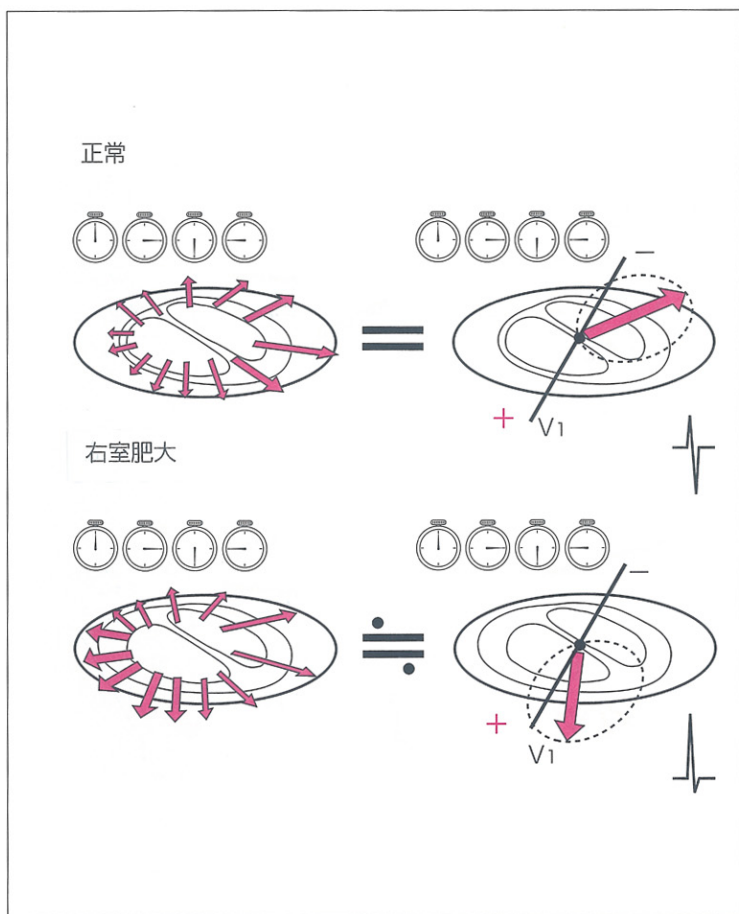


3次元の心室脱分極ベクトルループを、まず横断面に、次に胸部誘導に投射して、胸部誘導におけるQRS波が観察される。第4章part 2-3でみたように心室脱分極ベクトルループは横断面ではおもに左後方へ広がる。V₁誘導では右前方向が+であるため、QRS波では大きい陰性（S）波が主となる。

第6章 病態生理：part 2 心室肥大

4. 右室肥大-2：

右心室が肥大するとV₁とV₂誘導のR波は、肥大前と比べて高くなる。



右室肥大により右前方への電気ベクトルが多くなり、心室脱分極ベクトルループはより右前方へ広がるためである。